



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年3月13日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6570 URL http://kyowa-corp.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)澤田 亮 (TEL) (026) 227-1301
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,241	—	171	—	246	—	143	—
2019年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	24.39	24.14
2019年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2019年3月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、2019年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,909	3,389	31.1
2019年3月期	10,824	3,303	30.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,389百万円 2019年3月期 3,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	9.00	17.50
2020年3月期	—	8.50	—		
2020年3月期(予想)				9.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,686	18.6	347	△3.5	439	△10.2	63	△91.6	10.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	6,080,130株	2019年3月期	6,027,000株
2020年3月期3Q	119,220株	2019年3月期	200,000株
2020年3月期3Q	5,892,603株	2019年3月期3Q	4,206,034株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属するアミューズメント業界におきましては、昨年の消費増税により拍車がかかった節約志向に伴い、依然として厳しい経営環境が続いております。このような状況の中、当社の主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい、安心、三代目」をテーマとして、接客サービスの体制強化に努めるとともに、全店イベント等を毎月実施し、ファミリー層の集客策を推進致しました。アミューズメント機器販売事業におきましては、新製品の発売が少ないことに加え、景品及び中古機の販売不振により、厳しい状況で推移しております。

また、将来の市場規模成長が期待されるeスポーツには資金と人材を投入し、中長期的な企業価値の向上と、行政や地域コミュニティとの連携強化を積極的に推進しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高10,241,177千円、営業利益171,167千円、経常利益246,969千円、四半期純利益143,741千円となりました。なお特別損失として、不採算店舗の減損損失15,238千円を計上しております。

当社は、これまでの取り組みを進化させると同時に、企業体質の強化に加え、事業間のシナジー効果を発揮すべく、業務プロセスや収益管理の改善に継続的に取り組むことにより、更なる業績の向上と事業の成長を目指して参ります。

当第3四半期累計期間における、セグメント別の概況は次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、景品ゲームの利用促進イベントの開催、メダルゲームの新規顧客の掘り起しを含む来店促進策の実施等、様々な活性化策により来店客数の増加に努めました。なお、景品ゲームにおいては、もう1プレイを促進するための接客サービスの強化、SNSを利用した来店促進のための施策、各ゲームジャンル別の運営管理等を徹底したことにより、景品ゲームにおいて前年同期に比べ稼働が上がりました。なお、2019年4月に「アピナ草加店」、「アピナ幸手店」、「アピナS武蔵小山店」、「キッズスクエア上溝店」、「キッズスクエア松戸」、2019年5月に「アピナ荻窪店」、2019年8月に「アピナ印西店」、2019年10月に「アピナ市原店」の計8店舗を開設する一方、不採算店舗1店舗を閉鎖しており、総施設数は60施設となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は8,056,500千円、セグメント利益(営業利益)は645,593千円となりました。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、引き続き得意先への継続的な販売を行うとともに、新規取引先の獲得を積極的に推進しました。

以上の結果、アミューズメント機器販売事業における売上高は2,087,731千円、セグメント利益(営業利益)は46,106千円となりました。

③ その他事業

その他事業とは各種媒体を利用した広告代理店業であり、既存の広告媒体が伸び悩みを見せる中、セールスプロモーションとインターネット及びモバイルとの連携を取り入れながら、課題解決提案による既存取引先との関係強化を図るとともに、新規取引先の開拓を積極的に推進しました。

以上の結果、その他事業における売上高は96,945千円、セグメント利益(営業利益)は3,763千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して84,183千円増加し、10,909,045千円となりました。この要因は、貯蔵品が69,962千円、未収入金が35,151千円、敷金及び保証金が53,885千円増加したこと、受取手形及び売掛金が78,051千円、土地が50,017千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して2,388千円減少し、7,519,146千円となりました。この要因は、支払手形および買掛金が83,825千円、資産除去債務が41,457千円増加したこと、未払金が119,543千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して86,572千円増加し、3,389,898千円と

なりました。この要因は、資本金が15,821千円、資本剰余金が18,707千円、利益剰余金が40,624千円増加したこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月14日の決算短信で公表致しました2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,108,033	3,082,446
受取手形及び売掛金	871,851	793,799
商品	35,676	48,139
貯蔵品	163,318	233,280
未収入金	20,852	56,004
その他	267,385	302,266
貸倒引当金	△3,174	△2,041
流動資産合計	4,463,943	4,513,896
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器(純額)	1,978,645	1,955,280
建物(純額)	1,226,287	1,249,924
機械及び装置(純額)	25,523	23,264
工具、器具及び備品(純額)	155,890	187,164
土地	814,332	764,314
その他(純額)	31,228	24,428
有形固定資産合計	4,231,906	4,204,376
無形固定資産		
その他	39,013	32,861
無形固定資産合計	39,013	32,861
投資その他の資産		
投資有価証券	146,488	138,358
繰延税金資産	183,730	157,303
敷金及び保証金	1,271,686	1,325,572
その他	579,232	596,037
貸倒引当金	△91,141	△59,361
投資その他の資産合計	2,089,997	2,157,910
固定資産合計	6,360,918	6,395,148
資産合計	10,824,861	10,909,045

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,146,425	1,230,251
1年内返済予定の長期借入金	1,261,843	1,285,169
未払金	887,573	768,029
未払法人税等	87,054	—
未払消費税等	—	64,153
資産除去債務	—	15,980
賞与引当金	67,843	35,211
設備関係支払手形	123,472	134,050
その他	61,318	78,183
流動負債合計	3,635,530	3,611,028
固定負債		
長期借入金	3,590,523	3,596,100
資産除去債務	280,066	305,542
その他	15,414	6,474
固定負債合計	3,886,004	3,908,117
負債合計	7,521,535	7,519,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,887	709,709
資本剰余金	482,687	501,395
利益剰余金	2,118,616	2,159,241
自己株式	△41,400	△24,441
株主資本合計	3,253,792	3,345,903
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,533	43,995
評価・換算差額等合計	49,533	43,995
純資産合計	3,303,326	3,389,898
負債純資産合計	10,824,861	10,909,045

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	10,241,177
売上原価	5,566,104
売上総利益	4,675,072
販売費及び一般管理費	4,503,904
営業利益	171,167
営業外収益	
受取利息	1,510
受取配当金	3,284
受取保険金	45,388
貸倒引当金戻入額	29,308
その他	21,264
営業外収益合計	100,757
営業外費用	
支払利息	21,710
その他	3,245
営業外費用合計	24,955
経常利益	246,969
特別利益	
固定資産売却益	8,194
その他	4
特別利益合計	8,198
特別損失	
固定資産除却損	36,539
減損損失	15,238
特別損失合計	51,777
税引前四半期純利益	203,390
法人税、住民税及び事業税	30,795
法人税等調整額	28,853
法人税等合計	59,649
四半期純利益	143,741

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,056,500	2,087,731	10,144,231	96,945	10,241,177	—	10,241,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,056,500	2,087,731	10,144,231	96,945	10,241,177	—	10,241,177
セグメント利益 又は損失(△)	645,593	46,106	691,699	3,763	695,462	△524,294	171,167

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アミューズメント施設運営」セグメントにおいて、減損損失15,238千円を計上しております。